

今年もブドウ栽培、準備万端！

ワイン用のブドウを育てて3年が経ちました。8月の収穫に向けて、あとちょっと。今年はおいしいワインができることを期待しています。

販売も考えていて、酒類販売免許の申請手続きも進めています。

収量も昨年はお試しの50kgでしたが、今年は300kgを期待しています。

利用者さんの作業も、冬場の剪定作業、誘引作業、春からの株元の草刈、新梢・副梢の剪定、つる除去、除葉、傘かけ、収穫と年間を通じて大いに戦力になっています。

また、ブドウ圃場も第1、2に加え、第3～5まで増やしました。

品種も赤ワイン用2種類、白ワイン用2種類と増やしていく予定です。

【第1圃場の傘かけ作業風景】



【第2圃場のつる除去と傘かけ作業風景】



ブドウ圃場を拡張し、棚栽培もはじめます！



【第3圃場】

170本の藤沢産ブドウを植樹しました。
第1、第2圃場と合わせて藤沢産ブドウ
は600本程になりました。



【第4圃場】

棚栽培を試みます。
接ぎ木するための台木を植えています。



【第5圃場】

棚栽培と垣根栽培の両方を行います。
ブドウの種類は、小公子、アルバリーニ
ョ、プティ・マンサンを植樹しました。

田植えをしました！

毎年、恒例となった6月の田植え。目が不自由でも、足が不自由でも皆さんで工夫して楽しめます。今年は田んぼを増やして去年の2倍になりました。10月の収穫が楽しみです。収穫したらご飯を炊いてたくさん食べましょう。



初めての小麦の収穫！

昨年11月に小麦の種を蒔き、麦踏をして年を超え6月に収穫を迎えました。収穫作業は難航しました。小麦が風やキジで倒れた箇所があり、コンバイナーでうまく収穫できません。利用者さんと手刈りで収穫しました。収量は320kg程。厳しい検査を受け、小麦粉が出来たらパンを作ります。

【カマを使って一束ずつ刈りました。】



注目！！ かわうそ農園を皆さんに開放します！

のうふく通信 2024 年春号 (4 月発行) でもお伝えしましたが、神奈川県業務委託事業「都

市型ユニバーサル農園」
がいよいよ始まります。



稲刈りをします



野菜の苗を植えます

日常の暮らしの中で、ちょっと暮らしにくいな！とか、もっとなにかできたらな！とかいろいろ感じておられる方、畑で遊んでみませんか？畑作業は自然を相手にします。自然はすべてを受け入れてくれます。厳しさもありますが、正直です。こんな環境に少しでも触れてみてはいかがでしょうか。きっと今までにない何かを感じることができるでしょう。

皆さんとご一緒に、畑を耕し、苗を植え、野菜の成長のお世話をし、収穫して、食事をして、楽しい日々を過ごしましょう。



ブドウを収穫します



野菜を収穫します

問い合わせ先
社会福祉法人 光友会
農福推進室 室長 清水 崇
住所 〒252-0825 藤沢市瀬郷 1008 番地 1
電話 0466-48-1503

編集後記 都市型ユニバーサル農園という新たな試みに挑戦します。かわうそ農園が地域のすべての方々の憩いの場となって集い、にぎわう場となるよう活動したいと思います。(Tachan)